

帯広市男女共同参画情報誌

カスタネット

Vol.26 2013.10

第11回 女と男の一行詩・最優秀作品／夢だった 決まった職場に 男女の差



特集 学校における男女共同参画

- 学校における男女平等教育の現状は?
- 団体紹介:十勝キャリアデザインネットワーク
- 平成25年度帯広市男女共同参画セミナー紹介

「カスタネット」とは・・・2枚の丸い木が合わさり音が出る楽器から、女性と男性が共に歩むイメージを表現したものです。

学校における男女平等教育の現状は？

1999年に男女共同参画社会基本法が施行されました。法律や制度は大きく前進しましたが、実際の社会生活はまだまだそれに追いついていないというのが現状です。

帯広市においては、第二次となる「おびひろ男女共同参画プラン」を2010年(第一次は2001年)に策定して、男女平等の視点に立った教育の推進を目指し、特に次代を担う子どもたちに人権を尊重する心をはぐくむ教育を進めています。

今回、学校における男女共同参画をテーマに、小学校・中学校の義務教育における男女平等教育や教職員の研修の現状などについて、帯広市教育委員会学校教育指導室

村松室長、教育研究所 早川所長にお聞きしました。



学校での男女平等教育の内容は？

基本的に学校教育の根底に流れているのは人権尊重です。いじめ問題などを中心にしながら、互いの気持ちを尊重する大切さや、支え合いながら人間社会が出来ていることなど、その中で男女平等のことも含めて教えています。

小学校6年生では社会科、中学校3年生では公民の教科書に男女平等や男女共同参画に関することが掲載されています。

そして、道徳教育の時間だけでなく学級活動、学校行事などで男女が協力して取り組むなど、広く人権教育が行われています。

昔は男は技術科、女は家庭科という時代もあつたと思うのですが、今は男女共修なのでですか？

技術科、家庭科、技術・家庭科の3科目があり、小学校5年生から中学校3年生までで行われています。昔は男女で分かれていましたが、今は男女共修になっています。ノコギリやミシンを使用する場面でも男女共修です。

男女混合名簿の採用状況は？

10年ほど前から導入されはじめて、小学校においては入学した段階で男女混合名簿になっています。

現在、帯広市の小中学校の校長・教頭先生の女性の割合は？

小・中学校合わせて校長40名中5

中学校の名簿は混合でないところもあります。高学年になるにつれて性差としての意識が表れてきます。社会の変化で今後どう変わってゆくか分かりませんが、例えば、高校入試の場合の受験票は男女別と決まっているので、進学に対する配慮という面があります。それが男女差別とは先生側は考えていないと思っています。



教師の男女共同参画に関する研修はどのように行われていますか？

法律的な面での男女共同参画社会基本法の制定からの社会の流れやデータD&Vなどについて、研修しています。

また、道徳については、文部科学省の学習指導要領に基づいて、日本全国の授業指導が行われており、副読本的な心のノートを使って意見を出し合ったりしています。

取材を終えて

今回、義務教育の小学校・中学校での男女平等教育の現状についてお聞きすることができました。

まず最初に感じたのは、当然ながら我々親世代の学生時代とは変わってきていたとの思いでした。

学校生活で男女が一緒に学び、生活する場での男女平等教育、人権尊重教育は非常に重要で、子どもたちがそれを身につけるには、絶好の場であり、大切な期間であると強く感じました。

将来を担う大切な子どもたちのために、家庭・学校・地域がしっかりと連携して共に育てていかなければならぬと改めて思いました。

名（12・5%）、教頭40名中6名（15.0%）です。
採用は北海道教育委員会で行っています。

最後に子どもたちに男女平等意識は浸透していると思います？

今の子どもたちは、男女共同参画的な考え方、人権尊重の考え方、もしかすると、お母さん、お父さんより、当たり前になつていて、これが積みあがつて、社会の仕組み、社会の雰囲気が変わっていくと思います。

☆小学生に男女平等について聞いてみました☆

帯広市青少年育成者連絡協議会主催のジュニアリーダー養成講座あすかの会（小学6年生）
参加の16人（女子11人、男子5人）に御協力いただきました。



Q 女に生まれてよかったです？

はい
かわいい服が着られるから

はい
男は力があるから

Q 男に生まれてよかったです？

はい
貧困な国では女は学校に行けないから

はい
女の人に働いて食べさせることができるから

Q 学校では男女平等だと思う？

はい
友達と楽しいおしゃべりができるから

いいえ
男はいろいろなことに挑戦できるから

男女関係なく遊んで仲が良いから男女平等だと思う（女子）

男子だけ笑いをとってえこひいきだと思う（女子）

北村貴事務局長に活動内容などについてお聞きしました

十勝キャリアデザインネットワーク

女性自らエンパワーメント（人生を主体的に生きる力）をつけ、社会活動への参画を進め、活動している団体を紹介します。

「十勝キャリアデザインネットワーク」（佐々木直美会長）は

キャリアアップや起業を目指す女性たちが共に学び、成長していくための組織として、201

0年に㈱グロッキー（北村貴代表取締役）内に事務局を置いて、

設立されました。設立以来わずか3年程ですが、その活動内容

が評価され、㈱グロッキーが今

年度の内閣府「女性のチャレンジ支援賞」を受賞しました。

同ネットワークは女性を支援する組織です。その理由に、「女性は平日フルタイムで働くて、家事、育児、そして介護をして、それらを完璧にこなして当たり前」という風潮がある。女性には求められるものがあまりにも多いのに、それらを両立させる環境が整っていない。」ということ、「女性特有の課題の一つとして社内での昇進を望まない女性が多い」ということがあるが、それは身近にロールモデル（目標とする先輩、お手本）が

また、今後の活動としては、その人に合った先輩を紹介し、

なく、明確な目標設定ができないから。」等があります。一方、男性も抑圧されていると北村さんは語ります。「男性は『ねばならない』という足かせで縛られている。女性も働けば、その足かせが少なくなり、男性も起業できるようになる。」ということ

で、女性が力をつけることが、男性にとっても働きやすい環境になるようです。

同ネットワークの活動の一つに、「キャリアデザイン大賞」があります。これまで隔年で一度実施し、両年とも40名ほどの応募者があり、三部門各一名ずつ賞を授与してきました。受賞は本人のみならず、関連する多くの女性たちに励ましを与えます



事業計画などをサポートするメンターシップ（先輩が助言を与える）事業を展開する予定です。

このように女性が能力を発揮するための支援活動をしつつ、

そうすることによって同時に、地域に活力を生み出すことを狙っています。

「子育てと地域活動を楽しもう！」 ～仕事と家庭のハッピーバランス～

主催：帯広市・帯広市教育委員会・帯広市PTA連合会
共催：北海道PTA連合会 協力：帯広市男女共同参画推進員の会

昨年のセミナーに引き続き、講師にNPO法人ファザーリング・ジャパン副代表(創設者)の安藤哲也氏を迎えての帯広市男女共同参画セミナーが、2013年8月24日市民文化ホールで開催されました。

安藤氏は、2006年にNPO法人ファザーリング・ジャパン(父親であることを楽しむ団体)を立ち上げた創設者であり、広く地域社会にも目を向けて、子育てはもちろん、講演・PTA活動等と様々な場面で活躍されています。



NPO法人を立ち上げたきっかけは、安藤氏が35歳のときに子どもが誕生したことによるものでした。そのとき「自分を活かせるステージがきた」とはたと気づき、それまでの仕事を辞め、保育所のお迎えが可能な新たな仕事に就いたことが全てのはじまりでした。

父親が育児に関するメリットについて語りました。その中で、夫はよく妻に育児を「手伝う」というが、そもそも「手伝う」という言葉には当事者意識がないことを指摘し、夫の認識不足が少子化傾向を加速させいる要因であると説明しました。



以来、その道の先駆者として、父親が育児をすることが当たり前になる社会をめざし、「イクメン」という言葉がなくなる日を夢見て活動を続けています。

二男一女の父親でもある安藤氏は、その経験に基づき、自身の失敗談を交えながら、豊富な具体例を用いて

また安藤氏は、パパ活友をつくる方法など、父親の育児について細やかにアドバイスをし、参加者からは、「共感できる話ばかりで楽しかった」「夫に聞いてもらいかつた」という声が多く聞かれました。そのユーモアを交えての語り口に、会場は終始笑いの渦に包まれていました。

登録者
募集！

「帯広市女性
人材バンク」



帯広市では、

各種審議会等の政策方針決

定の場や講演

会等に女性が参画出来る機

会を増やし、そ

の能力を発揮

していただき

ため、候補者を登載した「帯

広市女性人材バンク」を設置

いたしました。

皆様の知識や経験を市政に反映させる絶好の機会です。自薦・他薦(本人の承諾必要)は問いません。専門的知識や技能をお持ちの方はもちろん市政に関心のある方、意欲のある女性の方、ぜひ登録ください。

申し込みは随時受け付けていますので、市のホームページ(※)からダウンロードし申込書に記入して男女共同参画推進課に郵送又は持参してください。詳しくは男女共同参画推進課までお問い合わせください。
※市HPで女性人材バンクと検索してください。

皆さんのご意見、ご感想をお待ちしています。

帯広市役所 男女共同参画推進課
〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地
電話：0155-65-4134 FAX：0155-23-0171
電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp

平成25年10月発行

●発 行：帯広市 男女共同参画推進課
●企画・編集：帯広市男女共同参画推進員
小林 孝子・小野寺和子
池田 淳一